



(株)湯浅建設土木部

羽ばたけ フレックシブルな建設人

④

—入社した現在の心境は。
「家業」である土木関係でのアルバイト経験はあったが、入社してからは戸惑うことも多かった。最近「よ

相田 衛吾さん

誰かを幸せにする仕事

うやく慣れてきたかな」と思う。毎日違うことをしているので、勉強になる。

—学生時代と今の大きな違いは。
物事に対する意識。学生時代は、遅刻しても焦らず「常に逃げ道を持っているような性格」だったが、今はそういう訳にはいかない。下請の

相田衛吾（あいだ へいご）
20歳。目標とする著名人は「松本人志」と「本田圭佑」。好きな言葉は、松本人志の「ノミスのままじゃノーポイント」。自らの「チャレンジ精神の源」だという。趣味はフットサルとサッカー観戦。

人たちと共に作業を終えた時に、社会人としての「やりがい」を感じている。

—信頼関係を築くために何が必要か。また、心がけていることは。
コミュニケーション。「自分はこういう人間だ」と自分を知ってもらうことが信頼関係のスタートだと思う。心がけていることは「何でも挑戦すること。今は「出来なくて当たり前」ぐらいな気持ちで、何に対しても「挑戦して吸収」していきたい。例えば、作業中にわからないことがあった時には、うやむやにしないで確認を繰り返し、知識や経験を

積んでいきたい。

—将来の目標は。

みんなから愛される人になりたい。自分の上司は、冗談などを通してコミュニケーションをとり、下請会社の誰からも慕われていると感じる。自分も下請会社の人に「また一緒に仕事をしたい」と思ってもらえる人になるのが目標。具体的には、一つ一つ仕事を覚えて、現場監督として一人で現場を持ち「周囲に迷惑をかけない大人」「地域に恥じない大人」になること。

—あなたが思い描く「建設業の使命」とは。
誰かを幸せにすること。この仕事は絶対に誰かのためになる。仕事の大小はあまり関係ないと思う。

何にでも挑戦して吸収する